

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

当地域ケアプラザの担当する地区は、ひぎり地区(日限山1～4丁目)と丸山台地区(丸山台1～4丁目)で、令和5年3月末現在、人口は合わせて約15,650人(ひぎり地区約8,770人、丸山台地区6,880人)、高齢化が進展し高齢化率は30.2%(ひぎり地区31.9%、丸山台地区28.1%)となっています。今後さらに高齢化が進展し、特に後期高齢者の割合が増加することが予想されます。
今年度の主な課題は、コロナが5類感染症になったことにより感染予防に注意しながら、様々な事業を再開させていくこと、さらに今後さらに課題となると見込まれる認知症対策の推進で、具体的には認知症に関する普及啓発や見守りの推進などに力を入れていくことです。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	地区社会福祉協議会や地区民生委員児童委員協議会へ相談し、ケアプラザと共に認知症普及啓発について考え実施する。併せて認知症をテーマにした地域ケア会議を開催し、地域の見守りや居場所についての現状や課題を探り、運営に活かせる情報を提供する。 併せてキャラバンメイト連絡会に参加し、キャラバンメイトとの連携を図っていく。
■	<input type="checkbox"/>	担当地域のデイサービスを対象に「高齢者虐待出張講座」等を行う。さらに民生委員に高齢者虐待について説明を行い、包括が相談窓口であることを周知する。成年後見サポートネットへ参加し、関係機関との連携強化とスキルアップを図る。
■	<input type="checkbox"/>	地域の保育園や幼稚園などの保育施設と共催で新しい「ひろば」をつくる。「ひろば」をつくることで、まだつながっていない保育施設と顔の見える関係をつくり、地域の子育て支援へと展開していく。
<input type="checkbox"/>	■	第4期地域福祉保健計画が丸山台地区で推進できるよう自治会を支援していく。特に同地区で課題となっている福祉ネットワークの活動がさらに展開できるよう支援していく。
<input type="checkbox"/>	■	ひぎり地区では、健康づくり部会などの5部会を設置し、第4期地域福祉保健を推進しており、各部会の事務局を地域ケアプラザ職員が担っているが、今年度は、中間振り返りの実施やコロナ禍が終息するなかで各事業が再開されるなど計画が推進するように支援していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

民生委員や小学生、郵便局等に認知症サポーター養成講座を実施し、認知症をテーマに「民生委員とケアマネジャーの連絡会」等を開催し、2月に開催する地域ケア会議でも認知症を取り上げるなど、様々な取組を行い地域の認知症理解の推進に努めた。
居宅介護支援事業所に出向き、「高齢者虐待」に関する出張講座を行った。
地域の保育施設と共催で新しい広場をつくることで、ケアプラザに来たことが無かった参加者とつながることができ、今まで連携することができなかった保育施設とも顔の見える関係をつくることができた。
丸山台地区の活動を支援し、居場所の開催時間の延長や、新しい居場所づくりの支援をすることができた。また地域のイベントにも積極的に参加するとともに、地域の障害者作業所や見守り協力事業者等が参加できるようつなぎ役となった。
ひぎり地区については、5部会の事務局として事業の実施を支援するほか、当初想定していなかった特別養護老人ホームの協力による配食サービスの実施などの成果をあげることができた。

区からのコメント

丸山台地区やひぎり地区のそれぞれの地域ニーズを意識して事業を推進していただいています。また、日頃から民生委員をはじめ、社会福祉協議会や区役所等と協力しながら地域課題の解決に尽力いただいています。引き続き、把握した地域ニーズを関係者や関係機関と共有いただき、課題解決に向けて一緒に取組を進められればと思います。
認知症に関して、地域向けの新たな啓発の取組や、民生委員やケアマネジャーに対する意識づけなど、チームオレンジを視野に入れた取組を着実に進めていただいています。在宅医療やエンディングノート、もしも手帳等についても、多くの方から知ってもらえるよう工夫していただきました。また、インフォーマルサービスの活用のため、事業所へ訪問し地域のサロンやサービスBを紹介したり、ケアマネジャー個別に情報提供を行ったりするなど、積極的に意識づけをしていただいています。引き続き、コーディネーターと包括が連携し、地域資源の活用を進めていただくことを期待します。